

関係各位

平成30年10月期(第34期) 第3四半期決算概要
及び 当期末に向けての資産効率化について

平成30年9月6日
株式会社トップカルチャー

1. 経営数値の実績

(1) 総括

当社グループの平成30年10月期第3四半期連結決算(平成29年11月1日～30年7月31日)は、以下のようになりました。

- ・連結売上高は、241億43百万円(前年同四半期1.9%増収)
- ・連結経常損失は、9億22百万円(前年同四半期経常利益85百万円)
- ・連結親会社株主に帰属する四半期純損失は、14億1百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益26百万円)

(2) 連結業績の要素別分析

連結売上高

新店・譲受店がけん引し、書籍、特撰雑貨・文具が売上を伸ばしたことに加え、人気タイトルの発売によりゲーム・リサイクルも好調でした。その一方で、CD・DVDの販売、レンタル売上は前年水準に届かず、連結売上高の前年同期比は101.9%(既存店94.5%)となりました。

連結経常損失・連結親会社株主に帰属する四半期純損失

店舗増加の影響で販管費が前年同期比0.6%増加したことに加え、レンタル仕入原価の増加を中心とした売上原価の上昇により、経常損失は、9億22百万円(前年同四半期は経常利益85百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、14億1百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益26百万円)となりました。

2. 当期末に向けての今後の資産効率化について

当社グループは、当期末に向けて財務体質を強化し、強固な経営基盤を構築していくことを目的として不動産の売却等20億円の資産効率化の施策を検討してまいります。

以上

本文書に関するお問い合わせ先: 株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海武則
〒950-2022 新潟市西区小針4-9-1 電話:025-232-0008